

安全靴用中敷き開発

「立ち仕事イメージ良く」

△業者へ販売を依頼するものが多い。小淵警備保障の小淵豊太郎常務は「警備業は3K職場（危険・汚穢・重労働）と言われることも多い。足元から業界を変えたい」と話す。BMZ統括管理部の高橋大悟部長は「インソールで健康をつくることによって、働くことを楽しんで立ち仕事が増えればうれしい」としている。

健康を支える「観点から福利厚生としての導入をアピールし、制服の一式に組み込んでもらえるようユニフォーム

健康を支える「観点から福利厚生としての導入をアピールし、制服の一式に組み込んでもらえるようユニフォーム

小淵警備保障・BMZ・高崎健康福祉大

警備業の小淵警備保障（伊勢崎市柴町）と靴のインソール（中敷き）を手掛けるBMZ（みなかみ町上津）は、安全靴用インソール「足トレWORK」を開発した。高崎健康福祉大（高崎市中大類町）の中村賢治講師を加えた3者で昨年から取り組んできたプロジェクトの一環。体への負担が軽減されるという科学的根拠を示し、「疲労の印象が先行する立ち仕事のイメージを変えたい」と力を込める。

インソールはスポーツ向けに製造したBMZの「アシトレ」を基本にした。アシトレより1・5〜2mmほど厚みを増して足とのフィット感を高め、ずれにくい素材のEVAを使った。長時間の使用を考え、全体に小さな穴を開けて通気性も確保した。

西社は群馬イノベーションアワード(GIA)で出合い、立ち仕事の課題を足から解消しようとして連携。「立ち仕事疲労軽減プロジェクト」を立ち上げ、BMZのインソールを小淵警備保障の従業員が履いて実証実験し、中村講師が業務前後の筋硬度と乳酸値を計測した。計測で、膝や腰の凝りと張りが緩和したという結果が得られた。足の骨格バランスを正しく整える効果もあり、姿勢改善が期待できるといっている。



「足トレWORK」を手にする（左から）

高橋部長、小淵常務

月内に販売を始め、価格は2千円前後に抑える予定。「従業員の